新物資システム（B-PLo）の概要

○ 内閣府では、平時には地方公共団体の物資の備蓄状況を簡便、迅速に把握し管理することができ、発災時には国・地方公共団体・民間事業者等の間で、物資の調達・輸送等に必要な情報を共有し、調整を効率化することで、迅速かつ円滑な被災者への物資支援を実現するための物資調達・輸送調整等支援システム（以下「旧システム」という。）を、令和２年度から運用している。
○ 旧システムの機能を継承しつつも、視認性や操作性を向上させ、物資支援業務へ精通していない職員でも利用しやすいシステムに改修し、令和７年４月から新物資システム（B-PLo（Busshi Procurement and Logistics support system））の運用を開始した。
○ また、新たに、平時から操作の習熟を図ることが可能な訓練シミュレーション機能や発災時の物資拠点管理にも活用できる、ロケーションマップなど、能登半島地震を踏まえ、より発災時の物資支援業務の実態に即した機能を追加した。



